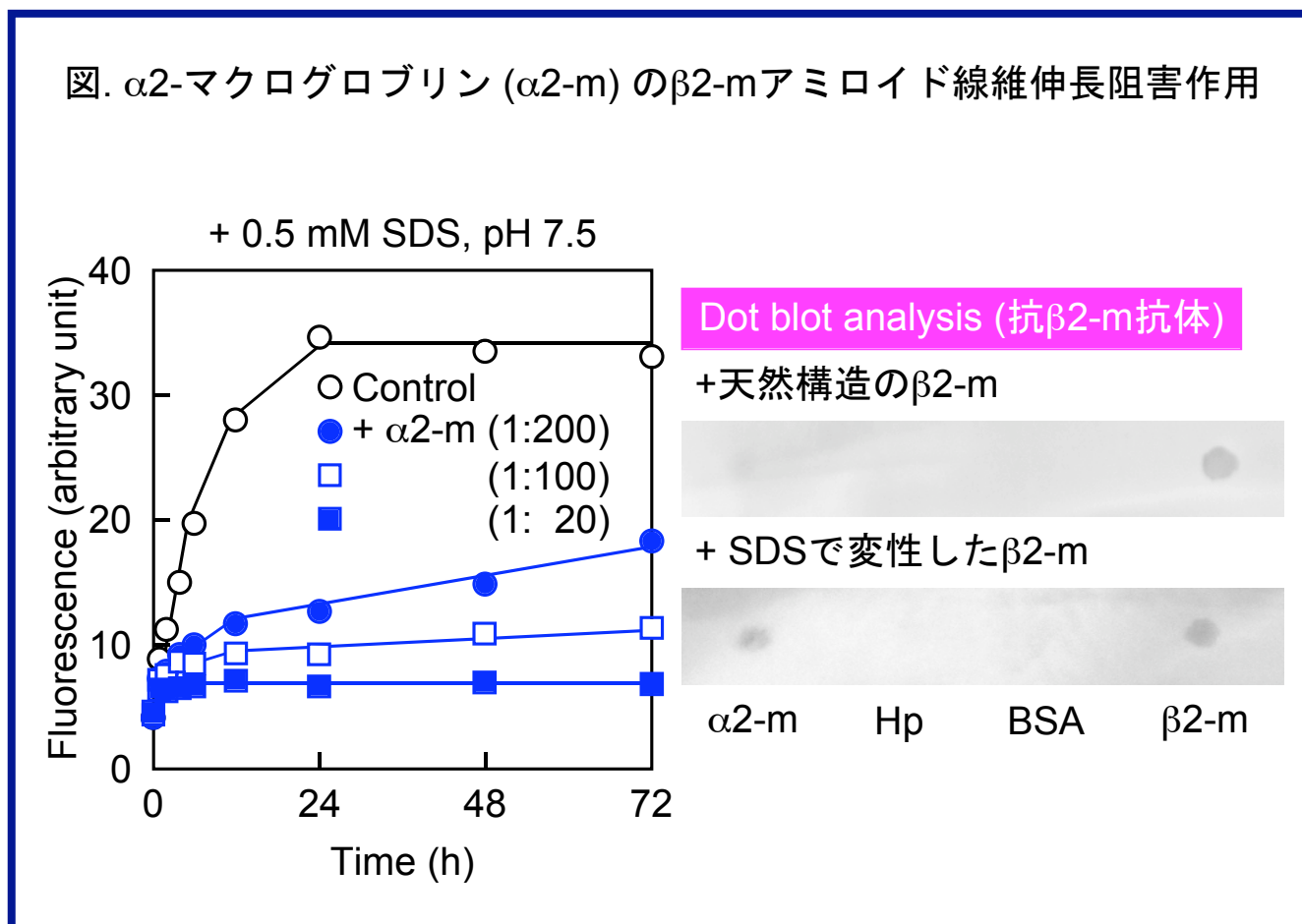


細胞外分子シャペロンは β 2-ミクログロブリン アミロイド線維の試験管内形成を阻害する

研究分担者：福井大学医学部分子病理 内木 宏延

図. α 2-マクログロブリン (α 2-m) の β 2-mアミロイド線維伸長阻害作用



解説

1. β 2-ミクログロブリン (β 2-m) アミロイド線維は長期血液透析患者組織に沈着し、透析アミロイドーシスを引き起こす。
2. われわれは、 α 2-マクログロブリン (α 2-m) が変性 β 2-mに特異的に結合し、中性pHにおける β 2-mアミロイド線維伸長を濃度依存性かつsubstoichiometricに阻害する事を発見した。
3. この知見は、細胞外分子シャペロンを中心とする蛋白質品質管理機構が、透析アミロイドーシスの発症を抑制している事を示唆している。